

「がれきの処理等を行う方のための安全講習会」（作業員・ボランティアの方のために）

がれき処理の状況

- 熊本地震の被災地では、地震で発生したがれきの片付け・搬送などの作業が行われている。
- 作業員やボランティアの方には、普段こうした作業をやっていない人もいる。

注意しなければならないこと



普段、がれき処理をやらない

安全に関する知識や備えがない



思わぬ事故にあう危険も！

がれき上での転倒、釘等の踏み抜き、がれき運搬に伴う腰痛、熱中症の発生が懸念される。

講習会により、安全かつ着実な災害復旧作業を支援

○ 熊本（5月29日）・福岡（5月30日）開催（受講料は無料）

- ※ 講習会の追加開催については、今回の取組結果や今後のがれき処理の進捗状況を踏まえて検討。
- 現地の対応にあたる労働局と、厚生労働省本省、安全対策の専門集団である建設業労働災害防止協会が講習会を企画。
- 自治体のボランティアセンター等に講習会の周知を依頼
 - ※ ボランティア関係者での安全の指導者的立場となる方を育成することで、取組を促進。
- がれき処理を行う事業者も対象（特に、経験の浅い作業員のために）